

薬害エイズ裁判

和解 17 周年記念集会

被害者としてよりよく生きる

2013 年 3 月 23 日（土）14:00～16:00

私たち東京／大阪 HIV 訴訟原告団・弁護団は、日本を襲った未曾有の薬害事件を語り継ぎ、さらには亡くなっていった被害者を追悼するために、和解記念集会を毎年、和解が成立したこの時期に開催しております。

和解から 17 年という長い年月を経過し、社会的には「薬害エイズ」が風化しつつありますが、現状はますます厳しくなっています。患者の病状の問題や遺族の悲しみはなくなることはありません。

今回の集会では、日本でも最初期の薬害であるスモンの被害者の方に、薬害スモンを闘い続けてきた歴史と思いなどをお話いただきます。このお話を聞き、薬害被害者として「よりよく生きる」ために、被害者自身、またその周囲の人たちがどのように薬害と向き合っていくか、考えるきっかけとなればと考えております。

主 催：東京 HIV 訴訟原告団／弁護団
大阪 HIV 訴訟原告団／弁護団
事務局：社会福祉法人はばたき福祉事業団

●プログラム●

黙祷・献花

来賓挨拶

講演「薬害スモンに学ぶ」

スモン薬害被害者から

主催者挨拶

日時：2013 年 3 月 23 日（土）14:00～16:00

場所：フクラシア東京ステーション 会議室 C

東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 6 階

TEL：03-3510-3051

テーマ

被害者としてよりよく生きる

私たち薬害エイズ被害者は、薬害エイズ裁判の和解から17年、HIV感染からは30年近くを経過しました。この長い時間のなかで、被害者を取り巻く環境は日々変化してきています。

決して安定したわけではない被害者の治療、癒されることのない遺族の悲しみなどの問題を解決するべく、私たち原告団・弁護団は取り組みを続けてきています。

今回の和解記念集会では、より長く「薬害被害者」として取り組んでこられたスモン被害者の方に、薬害スモンを闘い抜いてきた歴史と、被害者として活動している思いなどをお話しいただき、同じ「薬害被害者」である私たちHIV被害者やその周囲の人たちが今後どのように薬害とむかいあっていくか考えるひとつのきっかけとなれば、と考えています。

会場のご案内

フクラシア東京ステーション 会議室C（6階）



フクラシア東京ステーション (地上地図)

東京都千代田区大手町2-6-1朝日生命大手町ビル5F、6F
羽田空港より電車で30分／羽田空港よりタクシーで20分

こちらより地図にアクセスしていただけます。→

● お問い合わせ先

社会福祉法人はばたき福祉事業団

東京都新宿区新小川町 9-20 新小川町ビル 5F

TEL:03-5228-1200/FAX:03-5227-7126

E-mail:info@habataki.gr.jp

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

大阪府大阪市北区西天満 6 丁目 2-14-805

TEL:06-6364-7677/FAX:06-6364-8099

E-mail:info@mers.jp